

2013年7月28日

尾池和夫

オープンキャンパス「大学全体説明会」開会の挨拶

京都造形芸術大学の真夏のオープンキャンパスに、ようこそお越しくださいました。毎年、参加された皆さんが「来てよかった」「やる気が出た」と言ってくださる京都造形芸術大学のオープンキャンパスです。

オープンキャンパスに参加する目的は、その大学の教育の理念と、教育の内容を知ることにあります。本学の教育の理念は、1階のフロアにある「藝術立国」の碑に刻まれており、この理念は決して、ぶれることのない確固たるものであります。ですから、皆さんの先輩からその理念を聞いていただくこともできるでしょう。

しかし、大学は、常に教育の内容を検討し、改革を進めています。したがって、2014年度の教育の中身は、皆さんがご自身の目で、このオープンキャンパスで体験し、確認していただきたいと思えます。

もう一つ、私は皆さんにお話ししたいことがあります。それは、皆さんが選ばれる大学のある街のことです。皆さんは進学した大学のある街でこれからの4年間を暮らすことになります。そのような視点で、大学のある街を同時に見てほしいと思えます。

京都造形芸術大学のある京都市は、1300年の歴史を持ち、しかも今も発展を続けている街です。京都府の2012年度の大学生は、16万8554名。外国人留学生は、6900人です。17の世界遺産のある京都の街には、世界中から多くの学生が出入りします。それらを受け入れてきた歴史がこの街にはあるのです。その文化と伝統を知って、これから暮らす街を選ぶことも、とても大切なことだと思えます。

受験生の皆さんは、8月はじめの今年最初の入学試験「夏期コミュニケーション入学」の直前対策をこの機会になさってください。

高校1年、あるいは高校2年の皆さんは、この機会を利用して、一步踏み出してみ
るという体験を味わってください。すでに、13学科21コースの教員全員が待ってい
る場所を見てくださいました方もいるでしょう。学生や作品と一緒に教員全員が皆さんを
お待ちしております。いろんなコースを訪れてワークショップを体験してください。

これからの約1時間はこの教室で、京都造形芸術大学が他とは圧倒的に違うという
ことの真相を知っていただくことができます。

今日一日を大いに有効に活用していただきますようお願いして、私のご挨拶といた
します。

たくさんのご参加、ありがとうございました。